

# 太田東部地区

## 第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

### ☆どこでもサロン ～声かけあって支える輪～

誰もが気軽に参加できる場づくりのために・・・

#### 【成果】

- ・「かのえサロン」では、たまり場、ハーモニカ、写経など、充実したメニューで参加者が増え、ボランティア活動にもつながりました。
- ・「前里町ふれあいサロン」では、サロンでの活動から、地域でのボランティア活動や作品の展示など活動の輪が広がりました。



かのえサロン、前里町ふれあいサロン

#### 【今後に向けて】

- ・高齢化する参加者、担い手を考え、無理のない内容でサロンが安定して継続的に運営できるように取り組みます。
- ・地区内の交流がさらに広がるよう、広報紙などで周知して、利用者が増えるよう開かれたサロンを目指します。

高齢者の孤立を防止するために・・・

#### 【成果】

- ・ドンドン食事会では、食後の楽しみも充実し、楽しい時間を過ごすことができました。
- ・担い手も増え、食事会が定着し参加者も増えました。
- ・地区内の食事会で担い手の情報交換の機会をつくり、より充実した食事会を目指しました。
- ・高齢者日帰りバス旅行では、一人暮らしの高齢者に楽しい外出の機会をつくり、参加者間の交流が図れました。



ドンドン食事会

#### 【今後に向けて】

- ・各食事会で連携を図るため、担い手連絡会で情報共有を進めると共に、参加者が楽しい時間を過ごせるよう、工夫していきます。
- ・高齢者の外出の機会をつくるバス旅行は老人クラブの協力のもと、継続して実施していきます。

## 地域で見守りながら子育てできる街のために・・・

## 【成果】

- ・子育てサロン「ぱんだ」は4年目を迎え、民生委員の協力のもと地域の担い手により、気軽に参加できる親子の居場所、交流の場となりました。

## 【今後に向けて】

- ・引き続き、スタッフと民生委員が協力し、サロンを継続し、安定して運営できるように進めます。



ぱんだ

## 災害時にお互いに助け合える街づくりのために・・・

## 【成果】

- ・防災部会を定期的に行き、町内会単位でそれぞれの避難場所を確認しました。
- ・関東学院や3階以上のマンションに高齢者の避難協力を得ることができました。
- ・太田地区と協力して携帯あんしんカードを作成し、町内会や民生委員等を通じ配付しました。



携帯あんしんカード

## 【今後に向けて】

- ・地域で災害時の避難場所の情報を広報紙、地域の声掛けなどでしっかり共有できるように取り組みます。
- ・日頃から防災の取組について、住民にわかりやすく情報発信していきます。

## 第3期計画（平成28～32年度）

### 地域の特徴

（データ＝平成26年9月末日現在）

三春台(太田地区)を挟んで、平戸桜木道路沿いの東側地区と丘陵部の戸建て住宅地である西側地区で構成されています。

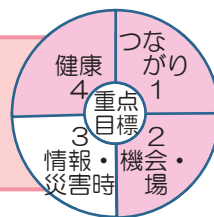
地区人口＝約8,900人  
年少人口比率＝9.4%  
高齢人口比率＝28.4%  
総世帯数＝約4,900世帯  
平均世帯規模＝約1.8人



## 心ふれあう まちづくり

### 元気でいきいき暮らせるために・・・

5年後の将来像：サロンで居場所をつくり、地域間での交流を図れる地域になっている。

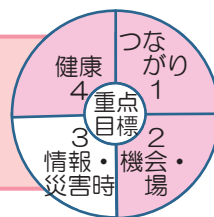


### 具体的な取組等

- ・高齢者が集えるサロンを継続し、安定した運営ができるように取り組みます。
- ・地域内の他サロンとの交流を図り、地域住民同士の交流の機会をつくり、つながりができるように進めます。
- ・広報紙を通じて、地区社協について理解を進めるとともに、地区社協や地域の活動を住民に紹介していきます。
- ・ラジオ体操やピンポン、ダンベル体操など地域で行われている健康維持・増進の取組を周知します。

### 高齢者の閉じこもり、孤立防止のために・・・

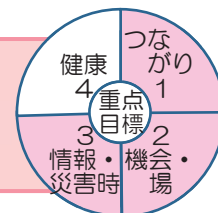
5年後の将来像：高齢者が外出を楽しみ、地域で見守りができている。



### 具体的な取組等

- ・食事会同士の連携を図りながら、充実した食事会を開催します。
- ・参加者、担い手の高齢化を鑑み、参加しやすいサロンづくりに努め、健康につながるプログラムを企画し取り組みます。
- ・地域の人材を活用し、認知症理解や介護予防の講座を開き、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- ・日帰りバス旅行等のイベントで外出の機会を増やします。

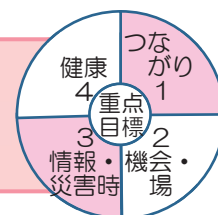
**子育て世代が安心して暮らせるまちづくりのために・・・**  
**5年後の将来像：地域の子どもたち、子育て世代をみんなで支え、**  
**見守ることができている。**



#### 具体的な取組等

- ・育児に奮闘する子育て世代が孤立する事がないよう、保育園やケアプラザ、学校等と連携し、地域の活動につなげていきます。
- ・子育てサロン「ぱんだ」を親子を見守る居場所、交流の場として充実させていきます。
- ・声掛けや挨拶をしっかりとできるよう、サロンを通じて働きかけていきます。

**それぞれが災害に備え、お互いに助けあうために・・・**  
**5年後の将来像：住民が要援護者を把握しながら、それぞれの避難**  
**場所に到着できる。**



#### 具体的な取組等

- ・一時避難場所等の地域内の情報を整理し、情報共有を進めます。
- ・防災訓練等で自助、共助の意識を啓発します。
- ・高齢者のみでなく、障害がある人、赤ちゃん、子連れの親も見守りながら、緊急、災害時に備えます。
- ・引き続き携帯あんしんカードの周知及び配付をしていきます。